



かんが

議会だより No.137

6月定例会	P 2
議案質疑	P 3
委員会質疑	P 4
一般質問	P 6 ~
かんだスクープ!・あとがき	...	P 16

6月
定例会

6月12日～6月29日

平成30年度苅田町一般会計補正予算等
11件、意見書6件を慎重審議

補正予算

平成30年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5054万2千円を追加し、補正後の総額は

128億4157万8千円。

条例の改正

●苅田町特別職の非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
●部活動指導員を中学校

*平成30年度補正予算(第1号)

一般会計	
歳出(増額補正の主なもの)	
・本庁舎空調機等修繕費	100万円
・高齢者先進安全自動車購入補助金	300万円
・福祉会館会議室空調機	113万円
・地域商品券発行事業補助金	490万円
・殿川ダム照明灯LED取替工事	155万円
・住宅管理システム更新に係る機器購入費	256万円
・救助工作車購	1億2,965万円
・総合体育館及び町民温水プールの建築物定期調査費	402万円

に配置することに伴い、部活動指導員の報酬を定めるため所要の改正を行うもの。
●苅田町税条例
生産性向上特別措置法が成立したことに伴い、地方税法等の一部を改正する法律に基づいて、苅田町税条例を改正し施行するもの。
改正内容としては、中小企業の一定の設備投資について、固定資産税の特例措置を講じるもの。

その他の議案

●専決処分
・平成30年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)
一市二町で行う在宅医

療・介護連携推進事業に係る費用を負担金から委託料に組み替えて支出するもの。
●苅田町税条例等の一部を改正する条例
地方税法等の一部を改正する法律等が、平成30年3月31日に公布されたことに伴い、苅田町税条例を改正し、施行するもの。
●苅田町国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法等の一部を改正する法律及び地方税法等の一部を改正する法律等が、平成30年3月31日に公布されたことに伴い、苅田町国民健康保険条例を改正し、施行するもの。
●平成30年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
平成29年度苅田町国民健康保険特別会計に

2億9200万円の歳入不足が見込まれ、平成30年度国民健康保険特別会計からの繰上充用が必要となったため。

●福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合規約の変更
平成30年10月1日に那珂川町が那珂川市となることに伴い、規約の変更を行うもの。
●福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議

●京都市公平委員会委員の選任
新谷博美氏を委員に選任することに同意。



殿川ダム照明灯

議案質疑

高齢者先進安全自動車購入費補助金

●県内初の取り組みのようだが、この事業を実施しようと思った理由は。

●本町の高齢者の交通事故が多い事。又、自動車の町でもあり、先進的な取り組みをし、交通事故を減らしたい。
●なぜ3万円なのか。
●A 装備車の差が約7万円から10万円なので、3分の1程度を補助しようということ。

●いつから適用で申請方法は。
●A 7月1日以降に新車登録をした車が対象。

65歳以下の身障者に適用しないのか。

●A 利用の状況も踏まえ、来年度には障がい者も含めた制度設計について考えてみるというのが可能。
●2年間では十分な効果があるとは思わないが。
●A 補助の運用の状況を見ながら考えていく。

商工費

●殿川ダムの照明灯LED取り替え工事について。
●A 平成5年度に整備した外灯が3月に1

消防費

●救助工作車を購入するに至った経緯は。
●A 緊急消防援助隊として県外に出動することも多く、25年使っていて車両の老朽化や不備があるため。
●広域全体で整備計画を立てるべきだが、広域のあり方はどうなっているのか。
●A それぞれの自治体に諸問題があり、全国的に足踏み状態。まずは消防指令システムの共同運用について本格的な会議が始まった。

苅田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

●部活動指導員はどのように決めたのか。
●A 現在、学校から要望があり、苅田中は剣道部、新津中はサッカー部の指導員を配置するよう進めている。又、週1回程度となる。
●もう指導員は誰かきまっているのか。
●A まだ決まっていない。これから選考していく。

苅田町税条例の一部を改正する条例の制定

●具体的な内容は。
●A 特例を設けて該当する償却資産に対し



では、税金課税額をゼロにするということ。
●補助の対象となる中小企業は本町にどのくらいあり、それに対する町の減収は試算しているのか。
●A 事業所の数は全体で約1450で、ほぼ該当する。年間で約1800万円の減収と試算している。
●対象となる中小企業にどのように周知するのか。

専決処分

●現在、本町に入るたばこ税はいくらか。
●A 平成28年度で4億3千万円。29年度は約4億円。

平成30年第2回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	村上智宣	高橋達之	屏正隆	岩谷潔	沖永義樹	白石学	友田敬而	榎谷忠明	常廣直行	三原茂	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	小山信美	坂本議長	結果	
議案第34号	京都郡公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第35号	平成30年度苅田町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
議案第36号	苅田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	苅田町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	専決処分について(平成30年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第39号	専決処分について(苅田町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	承認
議案第40号	専決処分について(苅田町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	承認
議案第41号	専決処分について(平成30年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	承認
議案第42号	福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書第4号	国民健康保険における子どもの均等割に軽減措置の導入を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
意見書第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
意見書第6号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
意見書第7号	旧優生保護法に基づき実施された優生手術の被害者への補償などを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書第8号	国の負担で学校給食の無償化を求める意見書	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
意見書第9号	日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○一賛成、×一反対
 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

総務常任委員会

- ▼平成30年度一般会計補正予算(第1号)
 ・高齢者先進安全自動車購入費補助金ついて
 Q 全国的な実績の状況は。
 A 愛知県豊田市や群馬県明和町など、全国で約10団体が実施。
- ▼苅田町税条例の一部を改正する条例の制定
 Q 機械用ロボットなど設備投資で税の免除ができるのか。
 A 認定されれば3年間免除となる。
- ▼苅田町税条例等の一部を改正する条例の制定
 Q 加熱式タバコの取扱は。
 A 重さと価格を紙タバコの本数に換算する方法。
- ▼苅田町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
 Q 課税限度額を58万円に改正、高額所得世帯数は。
 A 平成29年度は41世帯。



救急工作車

産業建設常任委員会

- ▼平成30年度一般会計補正予算(第1号)
 ・地域商品券補助金ついて
 Q 今回で何回目か。
 A 平成21年度より実施しており、10回目。効果については。
 A 新たな消費として約1700万円ある。
- Q アンケートを実施した結果は。
 A 6割から7割は継続を希望するとの回答。
- ・住宅管理費について
 Q 具体的なシステムの内容は
 A ノートパソコン2台、プリンター1台、サーバーが1台。
 Q このシステムは何を管理するものなのか
 A 町営住宅の収納情報等を管理している。



平成29年度のチラシ

厚生文教常任委員会

- ▼一般会計補正予算(第1号)
 Q 福祉会館会議室冷暖房エアコンは新設か。
 A 備え付け型のエアコンとは別に購入して設置する。
- Q 部活動指導員導入の目的は。
 A 指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため。
- Q どのような流れで任命していくのか。
 A 学校と協議し、適任者を決めていく。
- Q 各中学校に1名とのことだが、今後増員する予定はあるのか。
 A 国としては、4年間で各中学校に3名程度を配置する見通し。学校からの希望と内部の調整を含め人数が定まっていくなか考える。
- ▼平成30年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 Q 赤字の解消に法定外繰り入れは出来なかつたのか。
 A 平成28年度以降行っていない。
 Q 平成29年度単年度の赤字の額は。
 A 約5千万円。

議会のうごき

6月			5月			4月			
29日	27日	19日 14日 12日 7日	5日	16日	14日	10日	26日	16日	9日
議会閉会	議会広報特別委員会(137号の企画・編集)	付託委員会 一般質問 議案質疑 議会閉会	議員課題研修会(苅田町の歴史について) 議会運営委員会(6月定例会について)	産業建設常任委員会(農業公社受託農地の現地視察) 全員協議会(6月定例会提出予定議案について) 議会広報特別委員会(137号の企画・編集)	(2) 図書館のエアコン修理について (3) 外国人支援(日本語ボランティア)について	産業建設常任委員会(農業公社のあり方について) 厚生文教常任委員会(1) パンジープラン21VIIについて (2) 図書館のエアコン修理について	議会広報特別委員会(1) プロジェクトチーム設置について (2) 税の専決処分について	議会広報特別委員会(1) 36号の企画・編集 議案常任委員会(1) プロジェクトチーム設置について	議会広報特別委員会(1) 36号の企画・編集

9月定例会の予定

9月3日(月)から
9月26日(水)まで

*一般質問は9月11日(火)
9月12日(水)
9月13日(木)
9月14日(金)

*時間 午前10時~午後5時
*受付 庁舎6階にて
*問合せ先 議会事務局
☎093・434・1981

6月議会の傍聴者 37名
6月末アクセス件数
ライブ中継 250件
録画中継 267件
(平成30年4月からの累計)

Q ゴミ処理経費を今後どう考えるのか

A 処理費の削減が本町の最重要課題の一つ



屏 正 隆 (大樹会)

平成26年度に作成された「ごみ処理基本計画」

Q ゴミ袋を将来的に有料化しようとする目的は。

A 排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化、住民の意識改革などが考えられる。

Q ごみの出し方の課題は。

A 不法投棄や分別が守られていないごみがある事。

Q 戸別収集にした自

治体では、ごみ収集量が減ったり資源リサイクル率が高まるという効果が出ていく様だが、本町も全世界帯戸別回収にしたらよいのでは。

A 1万7747世帯あるので、時間と費用の面や道幅の問題で対応が難しい。

Q ごみ処理方法の課題は。

A エコプラントの老朽化が挙げられる。

Q 今後の方向性は。

A 経済的で町に最も

ふさわしい処理方式を選択したいと考えている。

Q 本町にとってごみ袋を有料化にする目的は。

A ごみ処理費を低減しなければならぬ。

Q 現在の処理経費は。

A 約8億円。

Q ごみの排出量を頑張ることで減らす事で経費はいくら下がるのか。

A 約2千万円。

Q ごみ処理経費1人当たりの金額は。

A 約2万円。

Q 町の名業者は何社あるのか。

A 2万1399円。

Q 県や全国に比べて高いのか。

A 県平均の約1.5倍、全国平均の約1.4倍と高い。

Q 県や全国並みに抑えるには。

A エコプラントでのRDF処理コストが非常に高いので、今後も続けていくか、別の方法を探すのかというのがポイント。

Q エコプラントは平成35年には寿命と言われている。どうするの。

A 2億円くらいの設備投資をして継続するか、新しい焼却方法、処理方法に変えるか等、経済効果を比較し実現可能かプロジェクトチームで検討している。

提言 本町としてごみ

処理計画は、最終的な処分方法を明確に定める事が一番大事。しっかり決めて頂きたい。

A 明確な方法を決め、新しい方法に移行することも含めて5年。その時には、本町のごみ処理費のあり方を決めるターニングポイントになると思う。



荻田エコプラント

Q 最近の子供達は、和式トイレを使えないのでは

A 洋式トイレのニーズが高まっている



松 蔭 日 出 美 (未 来)

Q 町営住宅のトイレについて現状は。

A 652戸のうち192戸が洋式、残り460個が和式という現状。

Q どうするのか。

A 洋式に変えていくのは非常に大きな課題、長寿命化計画にのっとりて事業を進めている。

Q 見直しをしては。

A 後期計画の見直し時期に入っており、トイレについてもしっかりと考えて行きたい。



町営住宅のトイレ

中小企業は国の宝

Q 国会では中小企業は国の宝と。本町の中小企業数は。

A 平成29年3月末で1538事業所となっている。

Q 人数、資本金で決まっているのか。

A 資本金3億円以下、常用雇用する従業員の数300人以下という定義になっている。

Q 町の指名業者は何社あるのか。

A 126事業者でA、B、C、Dに分けている。

Q 1500万円の仕事が出たら、A、Bの大きい業者が受注して、小さい業者が受注することがないか。

A 指名業者数の考慮、施工場所についても下位のものから入れるというようなことも考慮している。

Q 請け負った工事が8割済んでから次の指名に入れるとか公平に。

A 落札回数についても公平に公正に落札ができるように進めて行きたい。

Q 未登記について、進捗状況は。

A 154筆のうち現在139筆で、相続関係、現地確認不能などの部分が多々あり、処理が難しい状況。



町営住宅

提言 時間と手間が掛かるが、一つずつかたずけて、課長は次に引き継ぎをしていただきたい。

Q 耐震状況と今後の対策は

A スピード感を持ってやらねばならない



友田 敬而 (未来)

Q 学校のブロック塀点検した結果は。

A 目視で点検した。建築基準に満たない学校が2校あった。

Q 町が所有する施設でブロック塀があるところの把握は。

A 各施設については各所管で、総務課所管の庁舎等については、ブロック塀はない。

国民健康保険の累積赤字

Q 法定外繰入、その年度と累積額は。

A 平成27年度まで繰り入れたが、28年度からは繰り入れていない。平成29年度見込みで2億8956万2708円。

Q 累積の赤字をどのように処理するのか。

A 一般会計からの繰り出しをやめて、繰上げ充用という形でやっている。県に移管したこともあり、少し様子を見て対策を立てる。

Q この問題は、早く解消しないと、税負担と世代間の不公平

が生じる。

A 平成30年度の決算を見て、赤字解消に向けた今後の対応を検討する。

ユニバーサルデザイン

Q 本町の学校でエレベーターが設置されている学校はあるのか。

A 4校に設置されている。しかし、現在全て停止している。法定点検も行っていない。

Q なぜか。

A 対象の児童がいないのと財政難により年間70万円の点検費用節約のため。

地域おこし協力隊

Q 地域おこし協力隊員、大変素晴らしい活動をしている。どのような成果が上がっているか。

A 等覚寺地区で活動する中で、来訪者が年間約3千人、写真展や広報活動等で約2千人、テレビ放送もされている。

Q 国からの交付措置がないのに、本事業に取り組んだ当初の目的は。

A 白川・等覚寺地区の村おこしと棚田等

の環境保全。地元有志では限界を感じたため、地域おこし協力隊を活用した。

Q 定住も大きな目的の一つでは。

A その通り、すでに結婚され、定住の意思を示している。

Q 地元住民も離村する地域、自立し、定住するのは、困難が予想される。自立の支援は。

A 本町として、早急に自立のための支援を検討し、結論を出す。

中心市街地活性化

Q 「えきらく大市」駅周辺のイベントでどのような変化が起きたか。

A 昨年7月から主に毎月第1日曜日を中心に観光協会主催で行っている。これまでに11回開催、約3400人の参加、出店者数も約226店舗あった。

刈田えきらく大市
平成30年7月1日(日)
時間・10:00~15:00
場所・刈田駅自由通路、駐車場

イベントスケジュール
10:30~12:30 鷹匠による鷹飛ばし
11:00~ ハンドベル演奏
12:00~ サックス演奏
★随時 スイカ試食・販売 (売切次第終了)

西瓜販売 日く、美味しい
スイカが当たる抽選会
試食・激安販売

鷹が刈田駅を飛ぶ
鷹と一緒に写真が撮れるよ

ふわふわトランポリン
雨天中止

主催 にぎわいづくり実行委員会 事務局 (刈田町観光協会)
☎ 093-434-5560

えきらく大市のチラシ

Q 文化財の保存・継承は自治体の重要な責務では

A 保存・継承は重要だと考える



常 廣 直 行 (飛翔の会)

等覚寺の松会をどう保存するか

Q 保存が危ぶまれ、形態が急速に変化してというが、過疎化が進み保存が困難になると分かっていたのでは。

A 担う方々が少なくなり、危惧はしていた。

Q 地域おこし協力隊の活躍が報道され評価するが、最重要課題は等覚寺の松会の保存・継承、棚田や青龍窟の整備、広谷

湿原の保全ではないか。

A そうだと認識している。

Q 地域外から力がかかるという考え方も必要だ。

A 県や国と相談する。農村百景の棚田を存続させる予算を確保すべきだ。

A 棚田の現状を見ながら、柔軟に対応していく。

Q 文部科学省白書に継続・保存の事業には国が補助するとあるが、申請はしたか。

A 即答できるような資料は手元がないので、確認する。

Q 産業廃棄物など不法投棄が目立つ。整備すれば立派な観光資源だが。

A 広谷湿原を含めたラムサール条約も、等覚寺も観光資源と共通認識を持っている。

Q 修験道、等覚寺の松会、農村百景の棚田、豊玉姫伝説、広谷湿原等がコンパクトにまとまっている。日本遺産を目指せば

とめ機能の集約が必要。

A 駅に人が集まる商業施設を整備する考えだ。

Q 道路の突起の赤いマーキングにすぎないが、賠償責任が問われた。対応は。

A まとめて工事を発注。数が多くて見落としもある。

Q 小波瀬駅周辺の安全対策の効果は出ていない。駅のバリア

フリーが優先だ。

A 道路をカラー舗装したが効果がない。前に進めるように、検証作業を進めている。

提言 48・88kmという小さな町に、伝統文化、産業、工業等がコンパクトにまとまっているから最適な規模のまちができるのでは。



等覚寺の松会

Q 保険事業計画の進捗は

A 居宅サービスは減少



白石 学 (公明党)

Q 施設サービスはどうか。

A 増加している。

Q 特定健診情報は。

A 平成28年度の特定健診受診率は、約50%で、県内順位は4位。特定保健指導率は20%強で58位。

Q 第2期計画の目標は。

A 入院医療費の伸び率の減少と、生活習慣病の新規発症の減少。受診率向上のため、未受診者への訪問などを行う。

Q 保険者努力支援制度とは。

A 医療費適正化や健康づくりに取り組む自治体へのインセンティブ制度。国が予算を配分するもの。

Q 保険者努力支援制度で国保の赤字解消に、目標値の設定が必要では。

A 各課が出来るところで点数を上げようとしている。目標値は決めていない。

Q 保険事業計画の公開は。

A データヘルス計画として、ホームページで公開。

Q 公開内容を見て、見やすいなどのアンケートをホームページ上に作成しては。

A 見た感想についてのアンケートは、今後検討したい。

Q メタボ予備軍の割合が非常に高い。「血管内皮機能の改善」を目標に追加し、改善を図れないか。

A 特定健診の評価指標にはない項目。計

画見直しの時考える。

パンジープラン21

Q 訪問リハビリテーションの実績が計画と比べ、平成28年度は10倍近く増えているが。

A 計画は3年間立てる。平成26年度に立てた計画で、すでに決まっていた。

Q あまりにも計画値と違う。途中での見直しは出来ないのか。

A 大きな数値の異なりがあれば、考えられる。その項目だけの改定も必要だ。

LGBT

Q LGBT (性的少数者)の割合は約7%という調査結果がある。町の取り組みは。

ない部署もある。

提言 繁閑回避にも繋がっていない。上司の適切な指示が不可欠だ。

Q 行政評価を行う際に従来の縦割りの組織編制では機能しにくい、組織体制や定員管理と連動すべきだ。

A 縦割りを全否定ではなく、与えられた仕事以外の関連も視野を持ち、仕事を習熟する職員が求められる。

Q 職員削減の中、業務の標準化・効率化を進める上でICTの強化が必要では。

A 十分に活用は出来ていない。業務を集中化させ情報系に繋げたい。まずは、業務の整理が重要だ。

Q スリム化を図る上

A 町民には、3年間毎年啓発に努め、職員には研修をした。当事者による人権講演会を行った。

A きめ細かな対応の実施等について、通知に基づき、教職員間で共通認識に立つための対応を指導した。



で行政の守備範囲を見直し、地域の潜在能力である地域力、企業力、住民力が必要だ。

A 多様な住民の要請も行政の使命だ。どこで線を引くか、行政評価で判断したい。

提言 自主財源には恵

まれているが山積する課題や今後の財政需要を賄える体力はない。その一助として、地元で出来るものは地元業者に委ね、地域内再投資力を高めるべきだ。

Q 本町の福祉行政は

A 暮らしやすい、健康で明るく安心できるまちづくりを目指す



武内幸次郎 (未来)

夢のある町づくり

Q 簡素で効率的な行政運営の実現は。

A 新たな組織機構改革を検討する。

Q 平成28年度に数字の上では黒字化した。本当の意味での黒字との認識か。

A 町の健全な発展の意味からいえば、ある程度の投資がなされ、かつ黒字になることが望ましい。

Q 数字合わせの黒字化だ。安定的な財源

の捻出は。

A 企業誘致に加え定住化への方策が財源確保には必要だ。

Q 行財政改革プロジェクトチームで課題分析による優先順位の方向性の進捗は。

A 昨年火災が発生したエコプラントをはじめ、各課と調整を図り課題を抽出しているところだ。

Q 過去には、いつまでも結論が出なかつたこともある。

A 農業公社について

は9月議会までに結論を出す。新たな行政評価を行い、公共施設の改修などに取り組む。

Q 地域経営という発想をどのように捉えているか。

A 自治体を経営という観点から見るという意味では。

Q 組織機構改革で係制から担当制に移行したが、成果は。

A 担当制でないと業務が回らない部署もあるが、機能してい



新松山臨海工業団地

Q 目標人口を達成するための施策は

A 雇用の創出、定住化、子育て支援、住環境の整備



岩谷 潔 (飛翔の会)

Q 将来人口の目標は。
A 平成32年4万人、2060年3〜4万人。

Q 持続可能な社会の考え方は。
A これまで築いてきた産業を含め、自然や様々なものを調和させ発展させていく。

Q 4万人を達成するため、少子化対策は。
A 商工会議所青年部が行っている婚活イベントへの協力。

Q 雇用の創出対策は。
A 奨励金政策を活用

しながら企業立地を進めている。
Q 定住化を促進し町内の生産年齢人口を増やす対策は。
A 町内に就職してもらうために、苅田工業高校生を対象に企業訪問バスツアーを行っている。

Q 町外から働きにきている方々に対して町内に定住していただくための対策は。
A ホームページ等でのPR。直接のアプローチは出来ていない。

い。

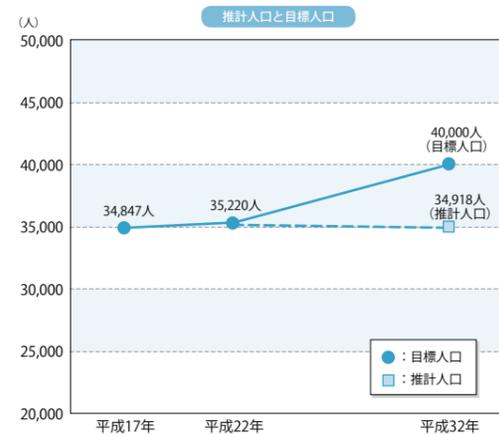
Q 北九州市から町内に、30歳代の方が転入傾向にある。もっとアプローチしては。
A 企業から魅力に乏しい、商業施設が不十分、駅にぎわいが無い等、厳しいご意見をいただいた。駅を中心として、まちのにぎわいづくりも定住化に向けた一つの政策と思う。

Q 子育て世代にとっでは教育環境の整備、子育て支援に対して

どれだけ重点を置いているかが大切なのでは。
A 子育て環境の整備はおろそかにすることはできないと考えている。
Q 総合戦略では移住及び交流人口の定住人口への転換対策として、空き家等の既存ストックの活用を推進するとあるが。
A 今後検討していく必要がある。
Q 待機児童の人数は。
A 4月現在で34名。
Q 待機児童対策は。
A 保育士処遇改善事業を行っている。

3. 目標人口

本町の平成32年度の目標人口は、40,000人程度と設定します。平成22年6月末現在の人口は、35,593人となっており、40,000人を達成するためには、少子化対策、雇用の創出、定住化の促進、住環境整備等の施策を総合的に進めていく必要があります。また、将来の目標人口は、50,000人と設定します。



資料：住民基本台帳、外国人については人口移動調査

推計人口は、平成22年3月末の住民基本台帳等のデータに基づいてコーホート要因法によって推計しました。

第4次苅田町総合計画後期基本計画（推計人口と目標人口）

設、学校施設は近隣で最も少ない。住環境の整備も行ってみたい。

Q 2019年10月から幼保無償化になるが、待機児童が増加するのでは。
A 保育需要が高まる施策と思う。対応を考えなければならぬ。
提言 公共施設の床面積、特に社会文化施設

Q 2025年慢性期の病床数は

A 現在より減少する



高橋 達之 (日本共産党)

国民健康保険

Q 国保の構造的な課題を解決するには国の負担の増額しかないと思うが。
A 全国知事会が国に要望、適切な財源が確保される。

Q 低所得世帯への国保軽減の考えは。
A 来庁してもらえれば個別相談に応じる。

Q 均等割課税において、子だくさんは減免対象になるか。
A 特別扱いはしない。

Q 赤ちゃんが高齢者
A 厚生労働省からのがん予防重点健康教

の負担をしているが。
A 制度の矛盾は感じるがルールに従って運営する。

Q ガン検診の取り組みについて。
A 公民館で集団検診をしている。

Q 個別検診は実施しているか。
A 前立腺ガン、乳ガン、子宮頸ガンは個別検診も選べる。

Q 胃ガン、肺ガン、大腸ガンの個別検診は。
A がん予防重点健康教

育及びがん検診実施のための指針に基づき実施している。
Q 禁煙対策は。
A 広報や特定検診で啓発する。

Q ピロリ菌対策は。
A 胃ガン検診のオプション項目である。

Q 資格証明書は必要な制度か。
A 納付相談の機会を確保するために必要。

障がい福祉サービス
65歳問題
Q 64歳は負担金なし

で65歳は一割負担、年齢による差別では。
A 国の制度に沿っている。
Q 障がい福祉で確保されていたサービスは介護保険で確保されるのか。
A 一人ひとりの状態による。

Q 共生型サービスの事業所は本町にあるか。
A 平成30年度より始めた制度で本町にはまだない。

Q 65歳で介護保険の手続きをしなかったら。
A 利用者として話し合い、介護保険に移行してもらおう。

就労継続支援A型事業
Q 給付金で障がい者に賃金を支払うことで経営が成り立つて

いるのでは。
A 平成29年4月の法改正で給付金を賃金に充てることができなくなった。

Q それでは経営が成り立たないのでは。
A 国で調査中である。

Q この問題を解決するため行政としてやるべきことは。
A 国の実態調査の動向を注視した上で対応したい。

検診車



検診車

Q 認知症保険の加入について

A 提案をいただいた検討する



井上 修 (飛翔の会)

Q 本町で40歳以上の認知症の方は何人か。

A 平成28年度現在、日常生活自立度Ⅱ以上が696名いる。

Q 行方不明のおそれのある人はいるのか。

A 事例が発生しているため、いと認識している。

Q 自治体で認知症保険加入を、神奈川県大和市、栃木県小山市、愛知県大府市、福岡県久留米市がしている。本町の考えは。

A 町として必要なのか検証していく必要がある。

か検証していく必要がある。

Q 賠償責任など、介護する家族の不安や負担の軽減のため、前向きに支援してほしい。

A 提案をいただいたので勉強してみたい。

産業振興

Q 町内の中小企業特にものづくり企業を取り巻く環境をどのように捉えているか。

A 雇用環境が非常に

厳しい、不安を払拭できるように考えていきたい。

Q 本町は工業立地によって成り立っている。中小企業なくして製造はできない。人材不足、特に後継者問題等に手を差し伸べては。

A 後継者問題に関しては現状では考えていない。国で考えている支援策の情報提供に努める。

BCP (事業継続計画) (※)

Q 早急に支援体制を整え荻田町防災基本計画にBCPを明記する考えは。

A 企業のBCPは大変大事だ。各企業に対して機会あるごとに啓発等を行ってきたい。

Q 緊急事態に備え、防災準備が従業員の安全と物的な被害の軽減と復旧復興を速やかに行う。策定支援は。

A BCPの策定に努めると明記している。協力体制はとっているが支援策は今のところない。

Q 平成29年、国は中小企業BCP策定支援事業として補正予算で7億円を計上した。国、県、商工会

議所と連携し構築されたい。

A BCPは、非常に重要な計画である。できるだけ作成に資するよう努めていく。

Q 交通商工課のスタッフが足りない。関係機関連域との連携が必要ではないか。

A 適正な要員が配置

されているか検証して組織のあり方について検討し作業を進めていく。

(※) BCP: 災害や大事故など、実際に緊急事態が生じた際に用いる「非常時対応マニュアル」と。



新松山臨海工業団地

Q 町民の願いにこたえた町づくりは

A 窓口で詳しく説明する



梶原 弘子 (日本共産党)

住みやすい町づくりを

Q 町営住宅入居条件に、単身者は「60歳以上」となっているが、改善をのぞむ。

A 単身者入居の条件は、一般的に高齢者、障害者とあり(60歳以上)で、身体障害手帳の交付者や療育手帳の交付を受けている人等の条件がある。

Q 町営住宅に入りやすいよう、窓口で文書等置いてほしい。

A 案内書や対応する時に詳しく説明した

いと思う。

Q 室内のカビがひどいという相談があるが。

A 入居時説明しているが換気のやり方や、家具配置等結露が生じないように、通気をよくしてほしい。

Q 無料低額医療制度に対応してほしい。

A 社会福祉法の規定する生活困窮者の為に無料、又は低額の料金で診察を行うようになってきている。窓口でも対応できるようにする。

介護保険制度を使いやすくできないのか

Q 高齢者が骨折し入院、退院後すぐ生活できるような家の改造を申請したが、退院しないとできないと言われた。制度の改善を願う。

A 入院中に、住宅改修申請は原則認められないが、退院後環境を整えておかないと、日常生活が困難な場合は、相談をいただければ、入院中でも申請を受ける。

ゴミ問題

Q ゴミ処理問題はどう変わったのか、その取組は。

A 生ゴミ処理の段ボールコンポストの使い方学習会を開く予定である。

Q 紙オムツを回収し再生する資源問題に取り組めないか。

A 情報収集に努め、勉強する。

働きやすい町づくり

Q 工場を誘致したら、町民が就職でき雇用が生まれると聞いている。なぜ外国人労働者が多いのか、町民雇用はどうなっているのか。

A 日本人労働者が集まらない場合は、外国人労働者に頼っている。

Q 外国人労働者に技能実習を受けさせていなかった問題につ

いてどう思うのか。

A 新聞報道によると、是正されたと載っていたので町はそう理解している。

高速道路の騒音

Q 東九州自動車道沿線に住んでいる人は、一日中音がし、騒音で眠れない。

A 高速道路はすべて50デシベル以下で騒音オーバーではない。



東九州自動車道



議会だより かんだ (137号)
平成30年7月25日発行

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

かんだスコープ!

vol.11 苅田工業高校機械工作部に聞く

ものづくりの町苅田

「自走式マイコンカー全国優勝！」

今回取材した苅田工業高校機械工作部は、ベーシッククラスで3年連続の全国大会出場、今回、みごとに初優勝を果たしました。

この大会は、県大会では50m、九州大会・全国大会では60mで距離設定したコースにマイクロコンピュータを載せた自走式マシンを使い、直角やS字カーブなどのコースをセンサーで読み取りながら走らせ、速さを競う競技です。県大会では約90台のマシ



ンが参加、九州大会では約500台、全国大会では約2千台のマシンが参加して、テクニクや速さを競いました。

今回優勝の立役者となった、同校機械工作部員で機械科1年生(当時)の三井健君は、県大会で優勝し、九州大会では準優勝となりましたが、全国大会の決勝戦では、九州大会で優勝した宮崎県延岡工業高校の相手マシンに競り勝ち、全国制覇を成し遂げました。

同校の吉中禎敏教頭と顧問である後藤高司教諭とともに取材を行うと、同校機械工作部は、現在25名の部員で、1年生が8名、2年生が10名、3年生が7名で部活動を行っており、2名の女子部員もいました。

また、顧問の後藤高司教諭は、指導暦16年、全国大会出

場10回を果たしている大ベテランで、学生の進路指導をする傍ら部活の指導にも携わっており、三井君は大変度胸があると評し、三井君ははじめ部員の地道な努力も高く評価しています。



最後に三井君や部員の皆さんに、今後の目標について伺いすると、高い技術が要求されるアドバンスクラスの大会に出場し、優勝して2冠を成し遂げることだと力強く意気込みを語ってくれました。

あ と が き
わが国では、大阪北部地震、富山県で起きた小学校付近での発砲事件、平成30年7月豪雨で多くの方が犠牲となった甚大な災害など、暗い話題が続く。
明るい話題として、先のサッカーワールドカップロシア大会での日本代表の善戦、23名の選手の素晴らしい戦いに、心から拍手を送りたい。

一方わが町では、3年ぶりに花火大会が復活、ANA定期貨物便の就航、国内最大級のバイオマス発電所の進出など、期待と喜びを実感する明るい兆しが見え始めた。

井上 修

表紙の写真



京都郡水泳大会

議会広報特別委員会
委員長 小山 信美
副委員長 友田 敬而
委員 梶原 弘子
井上 修
白谷 明
岩谷 忠
屏石 隆

〒800-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099